

## シンポジウム（事例紹介及びみやぎ型説明に係る質疑応答）

### ■事例紹介

#### 1 浜松市

(1) 日本初のコンセッション導入に当たって苦労した点は何か？

- ・私は今年度から赴任したので具体的な苦労は経験していないが、制度設計を行う際、関係機関への相談及び確認等をその都度実施した点が苦労したと聞いている。

(2) 運営から半年が経過した状況はどうか？

- ・運営から半年が経過した現状としては、モニタリングを定期的実施しているが、大きな問題がなく順調に推移している。これまでに、軽微な指摘事項が2件（流入水質に係る報告遅延、提出すべき会議資料の未提出）あったが、速やかに改善されており、PDCAサイクルをしっかりと実践していると感じている。
- ・一方、運営権者自身による創意工夫について提案があった。一例として、汚泥濃縮工程における消臭剤の自動添加システムの導入が挙げられる。

#### 2 ヴェオリア・ジャパン株式会社

(1) パリをはじめ、海外で再公営化されていることをどのように受け止めているか？

- ・「公営化」は「民営化」の反意語と捉えているが、フランスにおいて「民営化」が実施されたことは一度もなく、当社が実施しているのは「民間委託」である。
- ・原水を取得し、上水を作って配水池まで送水する「ウォーター・プロダクション」は自治体が継続して実施しており、配水池から家庭までの「ウォーター・デストリビューション」について、民間委託として民間企業が実施している。
- ・市民の代表である市議会が民間委託の継続や終了を決定するのであり、当社は、民間企業としてその決定に従うのみである。

#### 3 スエズ・アジア

(1) 日本で事業展開する場合、どのような戦略を持っているのか？

- ・日本企業とは海外で一緒に仕事をしているので実績がある。現在、日本で大きな変化が起こっていると感じている。地域パートナーとともにしっかりと取り組んでいきたい。

(2) スエズ・アジア社としてのアピールポイントは何か？

- ・マカオにおいて、事業の立ち上げから現在まで30年間の実績がある。その間、地域スタッフが実績を積み、マカオの社員がフランス本社を手助けするまでになった。
- ・当社の強みは、地域化とパートナーシップである。

## ■みやぎ型管理運営方式に係る状況説明

- (1) みやぎ型管理運営方式に関する説明時間が短いと感じた。一般県民が参加して理解できるように討論会や説明会を十分にとってほしい。
- ・次回シンポジウムにおいて、「みやぎ型管理運営方式」の説明時間をもっと取りたい。
  - ・新たに、いわゆる「出前講座」のような説明の機会も設けていきたい。

以上